

### 立民族学博物館

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく(国立民族学博物館)」の活動を 支援し、博物館を楽しく、積極的に活用するためにつくられました。

No.250

2019.3 > 4

発行日 2019 年 3 月 1 日 編集,発行一般財団法人千里文化財団

国立民族学博物館友の会の催しで充実した文化体験を!

### 2019年度上半期催しのご案内

の

### ■ 大阪:毎月第1土曜日/第5セミナー室

4/6 (土)【P7参照】

**──南アジア、弦の響き」関連】** 【企画展「旅する楽器-

イラン音楽の楽しみ――伝統打弦楽器サントゥールを例に

講師:谷正人(神戸大学大学院准教授)

5/4 (土·祝)【P7参照】

【特別展「子ども/おもちゃの博覧会」関連】 紙人形と着せ替え遊び ――遊ぶ身体の記憶

講師:森下 みさ子 (白百合女子大学教授)

 $6/1(\pm)$ 

陽気な墓を通して考える生と死―― ルーマニア・マラムレ

シュの暮らしと信仰(仮) 講師:新免光比呂(民博准教授)

 $7/6(\pm)$ 

【企画展「サウジアラビア、オアシスに生きる女性たちの50年

- 「みられる私」より「みる私」関連】

講師:企画展実行委員

8/3(+)

杉本 良男 (民博名誉教授)

 $9/7(\pm)$ 

古川 不可知 (民博機関研究員)

※東京でも年に3~4回程度実施します。次回は秋頃の開催を予定 しています。

### 東京で開催!トークイベント

国立民族学博物館と国立科学博物館の共同企画展の開催にあわせ て、トークイベントを開催します。【P6参照】

### ヒトってなんだ??

─ホモ・サピエンスの誕生から文化の獲得まで

日時:5/25(土)[4月募集開始予定] 場所:国立科学博物館(東京・上野公園)

話者:篠田謙一(国立科学博物館)、池谷和信(国立民族学博物館)

### ■ 体験セミナー

講師同行企画!日本国内の文化や慣習に親しむ現場体験型 のプログラムです。

募集開始! 【P3参照】

第81回

琵琶湖と生きる―刺し網漁とモンドリ漁

期間:5/11(土)~5/12(日)

講師:篠原徹(滋賀県立琵琶湖博物館館長)

渡部 圭一(滋賀県立琵琶湖博物館学芸技師)

卯田 宗平(民博准教授)

※下半期は秋季特別展「驚異と怪異一想像界の生きものたち」の開 催にあわせて、稲生物怪録と小泉八雲ゆかりの土地をめぐる旅行 (訪問先:広島県、島根県)を10月中旬に計画中(7月募集開始予定)。

### ■ 民族学研修の旅

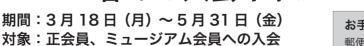
講師同行企画!研究者の調査地を訪ねる海外研修の旅です。

募集中! 【P6参照】

インドネシア東部、ヌサトゥンガラ諸島の住まいを訪ねる

期間:6/7(金)~6/18(火) 講師:佐藤浩司(民博准教授)

※下半期はベトナムとラオスの北部をめぐる旅行を11月中旬~12月



国立民族学博物館友の会へのご入会を贈り物にしてみませんか。贈 り主からのメッセージを添えて会員証をお届けします。刊行物、展 示場観覧、各種イベントへの参加をとおして、世界の文化に触れて いただくことができます。入学、就職、誕生日、開業のお祝いに。キャ ンペーン期間中にご入会いただくと素敵な景品をさしあげます。



国立科学博物館の共一の 開催します。[P6参照] ? :ンスの誕生から文化の獲得まで 4月募集開始予定] 勿館 (東京・上野公園) 国立科学博物館)、池谷 和信 (国立民族学博物館) プログラムは変更する可能性があります。その都度、「友の会ニュース」『月刊みんぱく』などでご案内します。 友の会へのご入会をプレゼントに!/ 本のご入会キャンペーン 2019 コ (金) 替用紙もご利用いただけます。

振替口座番号: 00970-9-317960 加入者名:一般財団法人千里文化財団



### 特別展と企画展 続々開幕

れ、

## TOYS EXPO-1 2019.3.21 | 木・祝 | - 5.28 | 火

3月21日(木·祝)~5月28日(火) 特別展示館



開催中~5月7日(火) 本館企画展示場

まもなく開幕! 特別展

本の玩具が特別展の会場に集まります 明治以降、日本の社会は、 みんぱくが所蔵する明治から一九七○年代に至るまでの 海外からの知識や技術の伝来、 大

構造、

楽器の宝庫、

南アジア。

なかでも弦楽器の多様さには形状や

具が紹介されます なくされました。 戦の経験や敗戦後の高度経済成長など、

特別展では、こうした社会の変遷とともに玩

くを占めます

このたびの企画展では、

演奏方法に準じて撥弦・擦弦・打弦

でその来歴に着目すると、南アジア起源のものは少なく、

演奏方法ともに目を見張るものがあるといいます。

ジアや東南アジアなど他地域から流入し、

、定着したものが多

時どきの変化を余儀

います。 です。たとえば明治に入ると、大量に生産できるようになった 争とのかかわりに着目した「戦争と子どもと玩具」、高度経済 いった時代背景をうかがい知ることができるのではないかと思 素材を使った玩具や「教育」という思想を踏まえた玩具が生ま 成長期までを振り返る「戦後の玩具と子ども」の三セクション 一次世界大戦に至るまでの玩具を紹介する「時代と玩具」、戦 到来、教育の普及や商品化など、世相を反映したテーマで第 展示は六つのセクションからなり、 戦後の玩具からは欧米への憧憬やマスメディアの飛躍と 戦時期には軍隊や兵器を表した玩具が登場したとい その核となるのが、

弦楽器です。 ヴィーナーとよばれる撥弦楽器とサーランギーとよばれる擦 国立博物館が収蔵するふたつの弦楽器があります。 かな南アジアの弦楽器を紹介します 系統に分別)、それぞれの楽器の来歴に着目しながら、 楽器の三種に大別し(とくに種 んでした。 品ですが、 ンガル州の名家タゴール家が日本の皇室に寄贈し、 展示の目玉のひとつに、多くの文化人を輩出したインド・ 般に公開される機会はいままでほとんどありませ いずれも職人技が光る豪奢な装飾が施された逸 |類の多い撥弦楽器はさらに四 現在は東京 キンナリ・ 個性豊

ギャラリー公演 で南アジアの弦楽器をお楽しみください 開幕期間中には研究公演のほか、 (展示場内で実施) も予定しています。 目と耳 小規模で演奏が楽しめ

とおして見つめることができる展示をお楽しみください

歴史や社会の変遷、

時どきの子どものありようを、

玩具を

開催中! 企画展

旅する楽器

### 展覧会をもっと楽しんでいただくために

### |友|の|会|講|演|会|

【企画展関連】 イラン音楽の楽しみ

伝統打弦楽器サントゥールを例に

講師:谷正人(神戸大学大学院准教授) 日時:4月6日(土)13:30~14:40

【特別展関連】

紙人形と着せ替え遊び

遊ぶ身体の記憶

講師: 森下 みさ子 (白百合女子大学教授) 日時:5月4日(土・祝)13:30~14:40

·····・ くわしくは P7 をご覧ください

### 季刊民族学 166号

企画展の開催にあわせて特集 「旅する楽器」を掲載。展示セ クションを担当する専門家 7 名による寄稿のほか、サン ディップ・タゴール氏のインタ ビューなどを収録。展示をより 深く理解していただくための 解説書としてご利用ください。



### 【募集】第81回体験セミナー

### 琶湖と生きる――刺し網漁とモンドリ漁

師:篠原徹(滋賀県立琵琶湖博物館館長)

渡部 圭一(滋賀県立琵琶湖博物館学芸技師)

卯田 宗平 (民博准教授)

協 力:滋賀県立琵琶湖博物館

間:5月11日(土)~5月12日(日)【申込締切4月10日(水)】 期

参加 書: 39.000円(行程中の宿泊費[1人部屋※1]、食費[朝・昼・夕食・各1回※2]、見学費、移動費用、保険代を含む)

募集人数:19名(最少催行人数15名)(申込先着順)

2人部屋の希望がある方はご相談ください。

1日目の昼食は召しあがってからのご参加をお願いいたします。

※正会員もしくは体験会員にご登録いただくことで、一般の方もご参加いただけます。

※気候条件等、行程は諸事情により変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



モンドリ漁の様子 (提供・びわ湖高島観光協会)

歴

史 本

が 蕞

あ

ŋ

岩

礁

砂

浜、

内 琶

湖

そして

合

水深

 $\vdash$ 

ル

Ō

所

など多

H

大の

湖

琵

琶

湖

琵

湖

は <u>×</u> 場

四〇〇

方

年

石

Щ

塚 1/2

現

0

石

山 魚

| 寺付

近

か

らは

シ

ンジミ

体 0

験

じます。

体験

後

は

油 刺 が 漁

師

0 網 場 つ

方

0

お宅

で

湖 ij

魚 漁

貝

殻 目

気やフナ

ノなど 在

Ō

類

の骨に交じ

Ď いセタ 遺 で生

魚

0)

骨

たと

わ

れ

て

61

ます。 には

縄文

時

代の

跡

であ

針

漁

港

を訪

間

漁

モ

ンド

人びと

が

湖

٤

に暮

5

し始

た歴

史

は

収蔵

庫

で見学し

に

て学

だ

次のの

約

万 **琵琶** 

年

前

琵 Ē

琶

湖

周

辺

域

活

は

ŧ

れ

な

湧 じます。

水

漁

に 77

流

n

込

高

島



刺し網漁の様子(提供・びわ湖高島観光協会)

### 旅行の行程

### 【5月11日(土)】

集合:滋賀県立琵琶湖博物館エントランス(13時頃)

- ■滋賀県立琵琶湖博物館
- 博物館概要説明

博物館のコンセプトやリニューアル後の見どころについてお 話いただきます。

・レクチャー「琵琶湖の漁業」

漁の特徴や、環境・歴史的背景について理解を深めます。

・展示場見学

琵琶湖の生き物と人との関わりを紹介している水族展示室を 中心に、篠原館長の解説付きでご案内いただきます。

- ・収蔵庫見学
- ■夕食(酒と肴「おはな」: 近江八幡市)

沖島出身のご夫婦が営まれている「おはな」で、県の無形民 俗文化財にも登録されている鮒ずしなど湖魚料理をいただき ます。夕食には篠原館長にもご同席いただきます。

■ホテル琵琶湖プラザにて宿泊

### 【5月12日(日)】

### ■針江漁港

針江漁港から出港する漁船に同乗し、「刺し網漁」と「モンド **リ漁」**を体験します。〈持ち物:雨具·濡れても良い靴·替えの靴など〉 ※荒天の場合は、漁師の方のお宅を訪問し、お話をうかがい ます。また、漁の準備をする作業場を見学させていただきます。

### ■居食

漁船から直接漁師の方のお宅に上陸。刺し網から魚をはずし 捕れたコアユを天ぷらに。また、湖魚の佃煮など琵琶湖の味 を存分に楽しみます。

### ■川魚店「近江今津西友 辻川店」

琵琶湖博物館の展示のモデルになった湖魚・川魚を扱うお店 を訪問し、琵琶湖の伝統食の魅力についてお話いただきます。

■解散: JR 新旭駅 (15 時半頃)

業が 琵 ~うか 琶 作 械 受け 化 湖 が 2 た が 0 継 釣 える道具が出 ź 'n 様 出 れて む現 針 な 環 P n 石錘 境 在 ・ます 生 土 など、 自 して 古 0 琵 物 発 琶 61 漁 に か 展 湖 ・ます。 あ をして を遂 伝 わ せ げ そ 師 た数多く 1/2 たち まし n たこと 伝 以 降 た 油

認され した多くの生 境 七〇〇種 17 えを持つ ます 物 てい 以 が 生 0 息 水生 ŧ 六〇 た、 動 植 物 )種 そ の生 を超 0) 環 える 息 境 が に 確 古 適

湖ととも V 滋 を L 賀 1県立 ただきます。 伝 加 に生 統 琵琶湖 湖 漁 きるため 法 0 博 いし 物館 に培 ま をさぐり る旅 見 てきた 光学と です。 漁 知 ŧ 0 恵や ず。 2 体 なさ 験 技 琵 をと 術 琶

水路を通じて琵琶湖とつながる内陸の

お

俗文化 n き た にした滋 の習 方 から  $\overline{\bigcirc}$ 性 回体験 で資源を守りつつ漁 琵 琶湖 登録され 賀県立琵 年 にそ 0) `利用 漁法 の貴 題湖博: 漁 につ では (重さが) なが 撈 角 物 て解 館 具 「湖と人間 を訪問 評 を船 け 価さ 湖 説して てきま 大工 ٤ n 有形 学芸 用 をテ 61 ただだ 真 限 を

### お問い合わせ・申し込みについて

お電話にて友の会事務局、近畿日本ツーリストまでお問い合わせく ださい。後日、お申し込み手続き書類・パンフレットをお送りします。 友の会会員以外の方は、正会員、もしくは体験会員にご登録くださ い。詳しくは国立民族学博物館友の会までお問い合わせください。

### ■研修企画

一般財団法人千里文化財団「国立民族学博物館友の会」係 TEL:06-6877-8893 ※受付時間 平日9:00~17:00

### ■旅行企画・実施

株式会社近畿日本ツーリスト関西 大阪法人旅行支店 観光庁長官登録登録旅行業 第2039号

TEL: 06-4397-8778 ※営業時間 平日10:00~18:00

【報告】第92回民族学研修の旅

### 融合と共存の北西インドをゆく

女神信仰とインド叙事詩の祭礼の期間に訪ねる

講師:三尾 稔(民博教授)

期間: 2018年10月13日(土)~22日(月)【10日間】



強い霊力をもつ女神を異界に返すために湖に向かう① 女神を運ぶ山車のパレ



カーストの異なる夫婦は恋愛結婚。都市部で はとくに結婚式事情が変化しつつある④



高さ約 72m のクトゥブ・ミナールの塔壁に ーランの章句などが記されている②



スィク教施設内の調理場。信者の奉仕で大 量の料理が調理・提供される③

10月16日

古都アーグラーに移動

ル朝

一代皇帝の居

10月15日 (月

した跡が見られる。夜、ラーマ神話の野外劇ラーム・リーラー

都市部の祭りは規模が大きく演劇の完成度も高

周辺にのこる宗教建築には建材にヒンドゥ

ー教寺院を転

ラー城と五代皇帝が王妃を偲んで建てた墓廟タージ・マハル

雨季明けに、ともに9日間続くふたつのヒンドゥー教祭礼 (※) の期間にあわせてインド北西部を訪ねました。北西イ ンドでは、異民族の侵入とそこで生じた文化の融合の歴史 が、人びとの多様な価値観を育んできました。宗教も例外 ではなく、4000年の歴史のなかで培われたさまざまな信 仰のあり方が人びとの暮らしのなかに息づいています。旅 行ではこうした歴史を物語る史跡や信仰の異なる宗教施 設を訪ねました。

ヒンドゥー教の要素を取り入れたイスラームの権力者の居 城建築、スーフィー聖者を慕ったヒンドゥー教徒の弟子の 墓に宗教の融合を見ました。ジャイナ教徒の厳格な菜食料 理を食べ、数千人規模の参拝者に毎日無料で食事を提供 するスィク教の施設を訪ね、あちこちに点在する小さな寺 院や祠を目にするたびに、宗教が生活の根幹にあることを 実感しました。結婚式や奉納行事に参加させていただいた のも嬉しい思い出です。参加者の感想とともに旅の記録を 報告します。

※ ヒンドゥー教の祭礼は、季節のめぐりにあわせて豊穣や家内安 全、社会の安定を願うとともに、その時期に起こったとされる 神話を再現することで、神の力にあやかるねらいがある。旅の 目的はドゥルガー女神神話とラーマ神話 (ラーマーヤナ) にち なんだふたつの祭礼を見学すること。

■写真提供:佐藤善秀さん、永井郁さん、中坪功雄さん、事務局。

ほかたくさんの方から写真や動画をいただきました。

モスク、

出国。

、インドの首都デリー

10月14日 (日)

10月13日(土)

### 10月17日

業のきっ られた一例 子であったヒンドゥー教徒の墓がある。 者昇天の日の祭礼に参加し布を奉納する。近くには聖者の弟 ウダイプルへ向かう途中、 の直営店へ。 には弟子の偶像が収められていた。 村で育まれてきた豊かな伝統的技術に着目したのが事 かけ。 。夕方、 女性の労働を軽減し自ら生計が立てられるよ カパーサン町のスーフィー聖者廟へ。 NGOの支援により手工芸を営む 宗教の融合が顕著に見 イスラーム風の墓廟

その後、 わずか一四年のあいだ都が置かれたファテープル・スィー かけてはラーマ神の人気が高いという。⑥⑦ も小規模で手作り感が溢れていた。 寺院に立ち寄りながらラーム・リーラー会場へ。 容だったムガル朝三代皇帝アクバルの政治思想が見て取れる。 ラージャスターン州の州都ジャイプルへ。 ヒンドゥー教的要素を取り入れた建築に異教にも寛 デリー ·からジャイプルに 夜 市内の

### ムガル朝五代皇帝が建てたラー 余裕が生まれた証拠だという。その後、 行列をなすのは国内各地から訪れた観光客。 ム勢力である奴隷王朝の戦勝記念塔クトゥ ジャマー・マスジット キラー ラー インド最初のイス や国 ル 国民の暮ら 内最 キラー ブ・ミナー 大規模 ・の門



祭壇に祀られたドゥル ガー女神像印

太陰太陽暦に属するヒンドゥー教の暦に則った 祭りは、年ごとに時期が変わると聞きました。 開催時期を見計らって年数をかけて企画を練 り、最良の機会に実施されたゆたかな研修で した。事前に講師より2大叙事詩『マハーバー ラタ』『ラーマーヤナ』を読むことを勧められま した。これがいかに深くヒンドゥー教の人びと の心に根づいているのかを理解できる旅行で した。(佐藤芳郎さん)

宗教とは何かを知りたくて参加した。多くの方 は、宗教を生活の部分集合とするようだ。イン ドの人たちにとって宗教の部分集合は極めて 大きいようだ。生活が宗教だと言い換えてもよ いだろう。宗教は人間生活からにじみ出てきた 文化である。事象が確率によって決まるのであ れば、祈りはなくなることがなく、宗教も人間 文化から未来永劫なくなることはない、そう確 信した。(高田真理さん)



スーフィ聖者廟内。神との合一を果たした聖者は不死



ヒンドゥー教寺院を転用したとされるイスラームの宗教 史跡。装飾部の顔面が削り取られている⑤



ウダイプル郊外に向かう途中で見かけた女神祭礼の儀 式(9)



ヒンドゥー教的要素が建築に取り入れられたファテ ル・スィークリー⑥



道路の上に設営された女神祭礼の巨大な祭壇。下の 広場ではダンスの奉納などがおこなわれる⑫

-マの敵である魔王のハリボテ人形。 ダシェラー の行事で燃やされる⑬



ジャイナ教寺院内。精巧な彫刻が施された大理石の柱 や天井が美しい⑩

まは環境に配慮し

て女神像に水をかける)。

女神像を運ぶ山車



野外劇ラーム・リーラー。ラーマが魔王の妹と森で出会 う場面。これがのちの事件に発展する⑦

神を異界に返す

ため女神像を湖に沈める行事をおこなう

日

は九日間続く祭礼の翌日にあたり、

強い霊力をもっ

た女

物を展

10月19日 (金)

ピチョラー湖をクルーズ。

。その後、

王宮を利用し王族

集めるヒンドゥー教寺院を参拝したのち女神祭礼を見学。

「示するシティパレスへ。 ウダイプルの人びとの信仰

10月20日(土)

の行事は各地で盛大におこなわれる。①®

魔王を模した紙人形を燃やすダシェラー

マが魔王を征伐する日にあたり、

ダ

、シェラーとよば

の行事を見学。

て歩く。

)日は、

マ神話の祭礼

ヒンドゥー教寺院の門 \_前を散策したのちデリ

の調理施設を見学。 堂内に安置された聖典を礼拝、 スィク教の宗教施設バングラ・サヒーブ・グルドワー 10月21日 (日) ク教信者の信仰のあらわれ。 なる新郎 パクトに進行する様子が現代的。 食材の提供や調理を無償で奉仕するの 新婦 参拝者に無料で提供する食事 結婚式に飛び入り な儀式に インド各

10月22日 (月

地の工芸を紹介する個人博物館を見学して空港へ。③④

### 10 月 18 日

生き物を傷つけないなどの決まりのもと、 ウダイプル市内から離れた山中にあるジャイナ教寺院 祭りとは規模も様子も異なるところが興味深い 生活について話を聞く。 こる農村を訪問。 ジャイナ教徒の食事をいただく。 な彫刻が施された大理石の建物が美しい。 道路の上に設営され参拝する人があとを断たない。 でおこなわれる女神祭礼のダ ·村の祠も女神祭礼の飾り付けがされていた。 主人の家でお茶をご馳走になりながら村の ウダイプル近郊は女神の人気が高く 午後、 ンス行事を見学。 領主館がきれいにの 厳格な菜食を守る 物に執着しない、 巨大な祭 村

### まだまだあります! 特別企画!

募集中

第93回 民族学研修の旅

### インドネシア東部、 ヌサトゥンガラ諸島の住まいを訪ねる

同行講師:佐藤 浩司(民博准教授)

期 間:6月7日(金)~18日(火)[12日間] 申込締切日:4月26日(金) 参加費:510.000円[成田発着](他燃油のサーチャージ等諸経費がかかります)

募集人数: 25 名 (最少催行人数 15 名) (先着順) ※詳細が必要な方には旅程表を郵送します

一本来のあり方をインドネシアの島々にさぐります。

お楽しみくださ

住空間のあり方は、

この半世

心のあ

いだに大きく様変

個人のも

間

のみの所

有物

でもない

帯はイカット

る島の自然を堪能するプログラムもご用意しました。

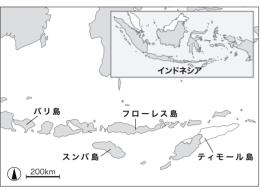
の産地でもあります。美しい手仕

いを見学します。

集落散策のほか、

独特の生態系を維持す

訪問先





一帯はイカットの産地





左・スンバ島の集落。右・フローレス島リオ人の中心家屋(写真はすべて提供・佐藤浩司)

会員による会員のための学習機会 **みんぱく友の会雑学サロン** 

島ごと民族ごとに異なる個性豊かな住

な形状に人びとの世界観を見ることができます

いまなお訪れる人の少ないヌサ

ンス島、

ティモ

島に属する三つの島。

巨大な円

2錐形の

高床住居や神が住

その家屋や集落には

・配置や

方位、

装飾やシンボリッ

万を超える島々に二○○以上の民族が暮らすインドネ

第3土曜日に開催(4月より時間・会場が変更になります)

3/16 (土) 15:15 ~ 16:30 ぶらぶら民族学 「チンチン電車で行く住吉大社と堺」 説明会 本館 2 階 第 3 セミナー室

4/20 (土) 15:30 ~ 16:30 雑学☆発表会「観音霊場巡拝のみち ①清水寺」 本館 2 階 第 7 セミナー室

申込不要 会場にて友の会会員証、フリーパスをご提示ください。

問い合わせ先:田和、谷北、山本(実行委員) zatsugakusalon@gmail.com

予告 4月募集開始 トークイベント

### 国立科学博物館と 国立民族学博物館の 研究者が対談します!

この春、みんぱくのビーズコレクションが趣向を変えて、国立科学博物館(東京・上野公園)の展示場にお目見えします。展覧会の開催にあわせて講演会を計画中。自然科学と人文科学の知見を交え「ヒト」について考えます。

### ヒトってなんだ??

### −ホモ・サピエンスの誕生から文化の獲得まで

話者: 篠田 謙一 (国立科学博物館)、池谷 和信 (国立民族学博物館)

日時:5月25日(土)14:00~16:00

会場:国立科学博物館日本館2階講堂(定員100名)

共催:国立科学博物館、千里文化財団

それぞれの発表をもとに、話者2名がディスカッションをします。 聴講は無料ですが、常設展示入館料が別途必要です。 ※予定を変更する場合があります。
予めご了承ください。

### 国立民族学博物館・国立科学博物館 共同企画展

### ビーズ一自然をつなぐ、世界をつなぐ一

期間: 4月9日(火)~6月16日(日)

会場:国立科学博物館 日本館1階 企画展示場

みんぱく友の会会員のみなさんは会員証を提示すると、団体料金で見学していただけます。 くわしくは国立科学博物館ホームページをご覧ください。

### ぼくのみんぱく日記画・中川洋典



## ■第487回■

【企画展「旅する楽器―南アジア、弦の響き」関連

イラン音楽の楽しみ

日時:4月6日(土)13時30分~14時40分 講師:谷 正人 (神戸大学大学院准教授) 伝統打弦楽器サントゥールを例に

日

外国

[からの観光客誘致に力を入れてい

の音楽について知る機会はいまだ少ない

本からの旅行者も増える傾向にある一

一方で、

とも

という三つのキーワードに着 がちですが、 に思います。 れば珍し ・ルの実演を交えながら、 ζ) 、本講演では いわゆる 楽器の響きだけに心を奪わ 「微分音」「無拍」 「民族音楽」というと、 冒し、 イラン音楽の魅力を 伝統楽器 「旋律進行」 れてしまい

サン

※講演会終了後、 分)。時間内に展示の見学も予定しています。ご参加には会 講師を囲んで懇談会をおこな います 40

## ■第488回

(特別展「子ども/おもちゃの博覧会」 関連 紙人形と着せ替え

遊ぶ身体の記憶

日時:5月4日(土・祝)13時33分~14時40分 講師:森下 みさ子 (白百合女子大学教授)

まで、 その変化には何が投影されているのでしょうか。 を経てリカちゃん、 かしていきたいと思います びとともにある玩具を、 には、どのような魅力が潜んでいるのでしょう。 替え人形。 !注目しながら、 代を越えて多くの女性が遊んだことのある着せ 女の子たちを夢中にさせてきた着せ替え遊び 千代紙の姉様人形から紙の着せ替え人形 普遍性と可変性の両面から そして着せ替えゲー 遊ぶ子どもの身体の感受性 ムにいたる 解き また、 遊

※講演会終了後、 ※展示見学会にご参加の方は会員証もしくは展示観覧券が 講師の案内のもと、 特別展の見学会をお

日時:2018年12月8日(土) 野次から応援。 応援の比較文化論の試みから

■第124回■

会場:モンベル御徒町店4Fサロン

東京講演会

実施報告

の形 手やパフォーマンス、 してみるとそれぞれの国 方で応援という現象を、 地で見出すことができます。 から政治の場などにおいて、 行為といえると思います。 応援というのは人間にあ 成具合などに着目して、 応援する組織 その担 0 事情 スポー 比

今回の講演では、 アメリカのチアリーダー オセアニアの 日本の大学

象が見られることがわかりました。 下るにつれて女性の参入という現 影響が考えられることが見えて の団体が指導することでできた 成されていたこと、 ずれも他人やほかの組織などを 変化にふれながら、 本的な文化として注目を浴びる その結果、応援する集団 男性成員中心で当 ところが現在の特 しかし時代を 比 検 在 初

## 丹羽 典生 (民博准教授

ŋ

Š

垣間見えたりします 世界 その

応援のスタイルとそれぞれの歴 カを導きの糸として、

イベントスケジュール

■企画展「旅する楽器 ―― 南アジア、弦の響き」

■特別展「子ども/おもちゃの博覧会」

3/9(土)太田心平 4/6(土)谷正人

3/3(日) 相島葉月 3/24(日) 伊藤敦規

3/31(日) 笹原亮二 4/7(日) 寺田吉孝

4/14(日) 日髙真吾 4/21(日) 池谷和信

4/4(木)、5(金) みんぱく春の遠足・校外学習

4/6(土) ワークショップ「かざってポン!オセ

3/2(土)(会場: ホテル阪急エキスポパーク) 研究公演「薫り立つインド宮廷の華

(会場:聖心女子大学 ブリット記念ホール)

◆都合によりスケジュールが変更になる場合があります。 イベントの参加には必ず会員証をご持参ください。

3/22(金)(会場:オーバルホール) 公開講演会「アンデス文明の起源を求めて

日本人研究60年の軌跡と展望」 ※東京でライブ配信をおこないます。

3/9(土) 東京講演会 伊藤敦規

※3月は第2土曜日に開催します。

(本館セミナー室ほか(予定))

4/20(土) 是澤博昭、笹原亮二

■みんぱくウィークエンド・サロン

3/9(土)、17(日)、30(土) 企画展ギャラリー公演

3/10(日) 無料観覧日

事前見学&ガイダンス

アニアのかざり」

サロードの至芸

【館外での開催】

[大阪]

[車立]

3/21(木·祝)~5/28(火)

開催中~5/7(火)

●みんぱくゼミナール

3/16(土) 寺田吉孝

4/28(日) 吉岡乾

●その他の催し

●友の会講演会

舞踊団「ナ・ホウ・エ・ファ」による、マオリのカパハカ (提供・国立民族学博物館)

て、

現在の女性の性的イメー

ジ が ネスや競技大会化の成 に構成されていたなか、

成功を通 ショウビ

的

ともと目

本と同じように男性中心

力

のチアリーダーにおいては、

フォーマンスのイメージが強いア

強調されたスタイルになっ

てきたこ

とをお話ししました。

見えてきたことについて紹介しまし ぐって研究をすすめていくなか

ことがあります。 き 応援するスタイルの成立には、 定 日 また日本の応援団という存 であること、 応援するために生み出された組 ました。 ました。 さらに女性による

講演では、このよう な応 援

# ■第483回■ 2018年12月1日(土)

生きる人びと」関連 【企画展 「アーミッシュ・キルトを訪ねて — そこに暮らし、そして世界に

# アーミッシュの信仰と文化

共二 (武蔵大学教授) 歴史から現代へ

遡って説明しました。アーミッシュの名 アルザスの亡命地についても言及しまし れ故郷であるスイス、ベルン州の農村や のもとになったヤーコプ・アマンの生ま 講演の前半では、北米に暮らすアー とくにスイス、ドイツの再洗礼派に シュのルーツを一六世紀のヨーロッ

車と足蹴り式のスクーターしか認めな いて解説しました。移動手段として馬 活を律する規則(オルドヌング)の具体 進歩派などのグループ形成、日々の生 あることは、アーミッシュの多様性を物 いグループもあれば、 ミッシュのアメリカ移民の過程、 れば自家用車を許可するグループも 次に一八世紀初頭に本格化するアー 現代文明との距離のとり方などにつ 人口動態、 教会組織、 シンプルな仕様で 保守派や 居住地

界にもち込んだ「古いもの」の数々をわ の聖書・讃美歌集・歴史書などの書籍 かりやすく示すことでしたが、ドイツ語 アーミッシュたちがヨーロッパから新世 この講演の目的はアメリカで生きる

> 文化、 薬草の煎じ薬や軟膏を用いるだけでな 呪いの秘伝、人知れずおこなわれる民 ません。 が前近代のスイスやドイツの民衆世界 とするアーミッシュの信仰治療は、 間療法の見えない世界も紹介しました。 法などの「有形」の遺産に加え、祝福と よばれる古いゴシック体)のカリグラ から譲りうけた歴史的遺産にほかなり フィー、花鳥をあしらった図案の彩飾技 く祈りや手かざしによって病を癒そう 同じくドイツ語(フラクトゥアと



ペンシルヴァニア州の納屋の星形模様。魔除けの役割があった

してくれたのです。 三氏

当時、日本放送協会大阪報道局の大塚 Cultural Dictionary) の作成にかかりまし 念願の辞典を手にしたサタワルの友人 妻が辞典を完成まで導いてくれました。 問題をかかえ時間を要しましたが、「 大きな支援を受けました。いくつかの 融氏のご尽力で関西財界の方がたから た (二〇一八年三月刊行)。これには ○○五年に菊澤律子准教授が民博に就 帰国後、サタワルから協力者を招聘 『サタワル文化辞典』(Satawalese オセアニア言語学者の菊澤ご夫

■第484回■ 1月5日(土)

## 【みんぱく名誉教授シリーズ】 の島の贈りもの、民博からのお返 研究成果の現地還元とは

須藤 健一(堺市博物館長、民博名誉教授)

リスト教への集団改宗 (一九五三年) 後 は母系一族の占有で部外秘の三○余の 出の知識や語りや呪文を私たちに伝授 査を許してくれました。多くの門外不 これらの使用が禁じられ、長老たちは 秘儀的知識が伝えられていました。キ 道智彌氏 (現民博名誉教授) もくわわり チェチェメニ号の故郷です。私と石森秀 八年~八〇年)をおこないました。島に 「伝統航海術の民族学的調査」(一九七 「消えゆく伝統を記録に残したい」と調 サタワル島はオセアニア展示場 (現民博名誉教授)、二年目には秋

訴した漁業賠償の基礎資料として役 から喜びの声が届いています 立ったものもあります。 る三冊の著書と多くの論文を書いてい 私たちはこれまでに、サタワルに関す 土地紛争の解決や国際裁判に勝 そのなかには、 島の中学・高校の

うばかりです。 博からのお返しがお役にたつことを願 可能にする生存のための知と技です。 の生き方と技術を今に生かすうえで民 近代文明の恩恵にのみ依存せず、祖先 人びとがいつどこへでも自力での移動を 伝統航海術やカヌー建造術は、 島



サタワル語辞書プロジェクト (1981年) 右回りに、須藤、石森、サウロマン、秋道の各氏(敬称略)

### お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

·般財団法人 千里文化財団

〒 565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10-1(国立民族学博物館3階) 電話: 06-6877-8893(平日9:00~17:00) FAX:06-6878-3716 e-mail: minpakutomo@senri-f.or.jp

https://www.senri-f.or.jp/minpaku\_associates/